

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【達成状況】

<input type="radio"/>	計画どおり実施できた。
<input type="radio"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="radio"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【所見】

長年の懸案事項であった給食センター(共同調理場)改築工事により、ドライシステムとオール電化厨房になり、衛生面と作業環境面双方とも改善が図られた。また、災害時の対応として備蓄米の確保と非常用発電機を設置するなど地域の拠点となり、住民にとっても安心して日常生活が送れるよう配慮した。今後は施設設備の維持管理を徹底し、必要に応じて点検を強化するなど細部に亘る措置を講じていくこととする。

2 事後評価の時期及び方法について

平成26年11月25日に行われた「早川町教育委員会」において事後評価を実施し、その結果を町のホームページにて公表。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

施設整備計画に計画していた事業について、平成26年2月の記録的大雪の影響を受け、工事に遅れが生じ翌年度に繰越をしたが、内容的にはほぼ計画どおりに実施できた。衛生管理の徹底と作業環境面の改善が食中毒予防に結びつき、食缶も保温性の高い物に変えたことにより、配送時間を含めでも「おいしい給食」がそのまま学校に届けられるようになった。また、アレルギー対応についてもきめ細やかな配慮が行き届き、教育委員をはじめとする学校関係者からも好評を得ている。さらに「地産地消」の取り組みでは、以前より地元産の使用食材も増えてきているので、引き続き町民に呼びかけてゆくこととし、併せて児童生徒に「給食に関するアンケート」を実施するなど食育推進に努めると同時に安心安全な給食を提供することを第一に考えていく。また今後は施設設備の維持管理が重要になるため、定期的な点検調査を行い厨房機器や機械設備が適正な状態に保たれるよう努力することとする。